

# セラテクトF(K) 上塗

CELATECT F(K) TOPCOAT

一般名称	低汚染型ふっ素樹脂系塗料上塗			
適用規格	SDK P-434(平成18年4月版)			
系統	低汚染形イソシアネート硬化ふっ素樹脂上塗塗料(2液形)			
主な用途	【橋梁用】			など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス
	—	—	—	—
特長	1)耐汚染性が優れている。 2)耐候性がすぐれ、特に光沢保持性と保色性が優れている。 3)乾燥が速い。 4)耐油性、耐薬品性、耐塩水性が優れている。 5)エポキシ樹脂系下塗塗料と付着性が優れている。			
塗料性状	塗料密度(比重)	1.29(白)		
	溶剤密度(比重)	0.89		
	加熱残分	58%(白)		
法令など		ベース	硬化剤	
	劇物表示 (品名・含有率)	—	—	
	労安法上の 表示有害物	キシレン 酢酸ブチル エチルベンゼン	酢酸エチル	
	使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等	
	消防法による 危険物区分	第1石油類(非水溶性)	第2石油類(非水溶性)	
	硬化剤の成分 による区分	イソシアネート		
	ホルムアルデヒド 放散等級	—		
製品情報		ベース	硬化剤	
	荷姿	16kgセット 4kgセット	13.3kg 3.33kg	2.7kg 0.67kg
	混合比(重量比)	ベース:硬化剤=5:1		
	主な色(色相)	各色		
素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。			
使用方法	調合方法	ベースに対して硬化剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加えたのち下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。		
	熟成時間	不要 ※規格に規定があるものは、それに準拠してください。		
	使用シンナー	テクト上塗シンナー		
	希釈率(重量比)	エアレス: 10~20wt% ハケ・ローラー: 0~10wt%		
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 : 10MPa(100kg/cm <sup>2</sup> )以上 チップNo. : 163-513~717		(日本グレイ社製)

# セラテクトF(K) 上塗

## CELATECT F(K) TOPCOAT

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m <sup>2</sup> /回
エアレススプレー塗り	25	75	140
ハケ塗り	25	75	120

注)標準塗付量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		0℃	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
乾燥時間	指触	2時間	1時間	1時間	15分	10分	10分
	半硬化	6時間	4時間	4時間	2時間	1時間	1時間
標準塗装間隔 注)	最短	1日					
	最長	10日					
可使時間		8時間	8時間	6時間	5時間	2時間	2時間

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 0℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: セラテクトF中塗

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリッド: —

水性: —

主な適用 強溶剤: —

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリッド: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用  
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	39.1	2.6
	10	34.2	2.9
	20	30.3	3.3

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または  
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で  
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。  
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容はSDS(安全データシート)をご参照ください。  
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。  
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。  
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の  
注意事項 1)被塗面が結露や霧で濡れている場合は、被塗面の乾燥を十分に確認したうえで塗装してください。  
2)硬化剤は湿気を吸いやすいため、保管場所や保管状態には十分に注意してください。  
3)器具洗浄用シンナーは、テクト上塗シンナーを使用してください。  
アルコール系溶剤を含有しているシンナーは使用できません。  
4)高温時には使用時限が特に短くなるので注意してください。  
5)常時没水される箇所には使用できません。  
6)厚塗りしすぎると塗膜が発泡することがあります。  
7)イソシアネート系硬化剤を用いているため、スプレーミストや蒸気に長時間接触(または吸引)すると、  
喉頭炎やぜんそく状発作を生じることがあるので、接触(または吸引)しないように取り扱ってください。  
また、塗料やスプレーミストが皮膚につくと、人によっては炎症やカブレを起こすことがあるので、  
皮膚につかないように取り扱いください。本塗料の安全衛生上の取り扱いについては、技術資料032  
「ポリウレタン樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。  
8)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。